

## 「出張講義概要一覧」（データサイエンス学科）

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
データサイエンスが明かす「チームの意外な真実」	木村 琢磨 (組織行動/データサイエンス)	リーダーが内気なチームの方が成果を出す。コソコソ作業するチームは仕事がかどる。いずれも直観とは違う結論かもしれません。この授業では、このようなデータが語る「チームの意外な真実」を読み解きます。
心臓電気活動の in silico シミュレーション	日高 一郎 (生体医工学/データサイエンス)	致死性の心臓不整脈を理解するには、ミクロな細胞の挙動を理解するだけでなく、それらが多数結合されたネットワークとして心臓を捉えることが必要です。簡単に実行できる数理モデルを使って、不整脈の謎に迫ります。
わたしたちの生活と確率	久保 奨 (応用数学/離散最適化)	確率と聞くと、サイコロに係る難しい問題など、本の中にあるイメージがあるかもしれませんが、生活していく上で、確率と無縁ではありません。確率を再考し、一生ものの確率的思考を身につけましょう。
スマートフォンで消費カロリーがわかるのは何故？	山中 健太郎 (身体教育学/データサイエンス)	スマホのアプリで1日の歩数や消費カロリーが計測できるのはなぜでしょう。そこには健康や運動に関する科学的知見とセンサーの技術、そしてデータサイエンスが活かされていることを、この授業では紐解いていきます。
信頼が社会を動かす？	仁科 国之 (社会心理学/社会神経科学)	私たちは意識するしないに関わらず日常生活で、他者を信頼しています。この授業では、なぜ私たちは他者を信頼することができるのか、そして、信頼できるからこそ社会生活ができることを知ってもらいます。
アニメーションで物理を知ろう	永井 朋子 (教育工学/データサイエンス)	物理を難しいと思いませんか？ゲームの中のキャラクターの動きは物理法則にしたがってつくられています。Pythonなどのプログラム言語でアニメーションをつくって、動かしてみましょう。

## 「出張講義概要一覧」（デジタルイノベーション学科）

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
インターネットの舞台裏: ネットワーク技術の仕組み	河合 孔明 (コンピュータネットワーク)	インターネットは、世界中のコンピュータが協調して動く巨大なシステムです。本講義では、その根幹を支える通信プロトコルやデータの流れを解説します。大学の講義の雰囲気を残しつつ、分かりやすく解説します。
統計的仮説検定の基礎と応用	篠崎 絢 (多変量解析)	高校で学ぶ仮説検定を簡単におさらいし、その考え方が大学で学ぶ統計学でどのように発展するのかを解説します。さらに、実社会での応用例にも触れながら、仮説検定が社会でどのように役立っているのかを紹介します。
コンピュータで革新的な材料設計を行う	青柳 岳司 (計算機材料設計)	半導体、金属、ポリマーなど産業を支える材料開発は競争が激しく、高性能な材料を高速に開発することが求められます。本講義ではシミュレーションやAIを用いて革新的な材料を開発する最先端の研究を紹介します。
生成AIのしくみとセキュリティ	石井 将大 (サイバーセキュリティ)	生成AIが文章や画像を生み出す基本的なしくみを学びながら、誤情報、情報漏えい、悪用、だまされやすさなどの課題を考えます。体験を通して、安全に使う視点を身につけます。
デザイン思考	竹政 昭利 (情報科学, DX)	画期的な商品やサービスをつくるのはどうしたらよいでしょう？「アンケートを取る？」「街角でインタビューをする？」全くダメではありませんが不十分です。それは？デザイン思考が教えてくれます
アジャイルなアプリ開発の方法論	中鉢 欣秀 (ソフトウェア工学/アジャイル開発)	チーム全員のプログラミングの能力を合わせ、価値あるアプリを創り出すにはどのような方法があるのでしょうか？アジャイル開発をテーマに、そのための実践的な手法について解説します。

「出張講義概要一覧」(国際教養学科※2025年4月英語コミュニケーション学科より名称変更)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
Speak up in English!	金城 承紀 (英語教育)	Join a friendly, interactive English class where you build confidence through pair work, vocabulary activities, a short speech, and group discussion. Discover how you can express your ideas in English. *This class will be conducted mainly in English.
The Asian Century and Global Popular Digital Culture	ウォレン・スタニスロース (英語圏文化、比較文化)	How does online culture spread across the world? This lecture explores how digital popular culture from East Asia is influencing global trends, especially among young people in the West. We will look at how music, videos, and social media are shaping new ideas about identity and lifestyle.
現代メディアとコミュニケーション	小西 卓三 (メディア研究、コミュニケーション研究)	スマホのアラームで目覚め、BeRealやLINEをチェックし、TikTokのダンスを覚えて友達と踊る。こうした日常のメディア体験はコミュニケーションをどのように変容させているのか、考えてみましょう。
英語で世界の人たちとコミュニケーションしよう!	森 博英 (英語教育学・第二言語習得論)	グローバル社会をよりよく生きるための英語力とその英語力を身につけるための効果的な英語学習法を紹介します。
ミュージカルを通して考えるアメリカの社会と多様性	池田 陽子 (アメリカ文化・文化人類学)	この授業では、社会や世相が反映されることも多いミュージカルの歴史と作品を通してアメリカの人種問題や社会についての理解を深め、アイデンティティと多様性について考えます。
愛には形がある： 『ロミオとジュリエット』における「演劇の中の詩」	米谷 郁子 (イギリス文学・文化)	名作『ロミオとジュリエット』の有名なシーンを題材に、言葉がいかにそこに置かれ、詩となり、セリフとなり、聞かれ継がれていくのかを考えながら、言葉の力とその効果を探ります。
女性と衣装：19世紀イギリスを中心に	金子 弥生 (イギリス文学・文化)	19世紀、イギリスでは産業革命が進み、男女の役割分担がはっきりしました。女性は現在の私たちとは全く異なる服装を身に着けていました。それはどのような服装なのか、なぜそのような服装だったのかを考えます。
Discussing Current Issues in English	John McCarthy (TESOL, Critical Thinking)	What are some current issues that affect young people around the world? How are those issues viewed differently in different countries? In this lesson, you will learn vocabulary and conversation strategies that will help you clearly express your opinion on some of these issues, and you will practice discussing them with your classmates.

「出張講義概要一覧」(国際日本学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
国際観光ビジネス論 - 感動を演出する！国際観光のお仕事 -	高橋 修一郎 (観光ホスピタリティ教育・キャリア教育)	旅の価値はコロナ禍により、人生を豊かにする価値と再認識されました。本講では、観光ビジネスの魅力を理解し、観光人財の資質を育くみます。(※校外学修東京ディズニーリゾート研修の事前学修にも対応可能です)
高校生のキャリアデザイン - 社会で活躍するための魔法の言葉 -	高橋 修一郎 (観光ホスピタリティ教育・キャリア教育)	皆さんは人生の岐路にいます。AI(人工知能)の進歩は、職業が様変わりする可能性があります。本講は、変革激しい社会で、自分のキャリアを描く術を理解し実践します。将来の糧となるよう楽しく学んでいきます。
ブレイス・ブランディング -地域×ブランドで、あなたのクリエイティブな未来をイメージ-	田原 洋樹 (地域創生・地域ブランディング ・観光ビジネス)	地域資源を活かしたオリジナル企画に挑戦！コミュニティ・ブランド思考を学び観光・航空・国際ビジネス等幅広い進路で生きる感性を醸成する講座です。※本学で開講している「地域ブランド論」を高校生向けにアレンジ
コミュニティ創生論 -地域から世界へ！未来を切り拓くグローバル思考養成-	田原 洋樹 (地域創生・地域ブランディング ・観光ビジネス)	航空・旅行・外資・地域プロデュースなど幅広い進路に直結！地域のリアルを国際的な視点で学び、自分の強みに変えていく講義です。※本学で開講している「地域創生論」を高校生向けにアレンジ
グローバル化と日本のものづくり文化	重松 優 (日本近代史)	日本の「ものづくり」の特徴である「シンプルさ」は、茶道の「わび・さび」や民芸運動に由来し、無印良品やApple製品にも影響を与えています。日本独特の「もの」が生まれた背景を一緒に考えましょう。
英語を「習得する」ってどういうこと？	高味 み鈴 (英語教育・第二言語習得)	英語はどの様に習得されるものでしょうか。この疑問について考えてみると、皆さんにとって効果的な英語学習方法が見つかるかも知れません。少しだけ言語習得の分野を覗いてみませんか。
食から考える異文化理解	高橋 薫 (社会学)	「食」は異文化への身近な入口であると同時に、自身の態度や姿勢を見つめ直すきっかけにもなります。イギリス料理の事例を通して、異文化を理解するとはどういうことなのかを一緒に考えてみましょう。
Japanese Odyssey: The Journeys of John Manjiro	Samuel Porter (Japanese and East Asian History)	This lecture introduces students to the fascinating life story of John Manjiro, a young fisherman from Tosa domain who became the first Japanese person to visit America. Through discussion, primary source analysis, and lecture, students will become familiar with university history class instruction.
日本伝統文化を海外に発信する	赤堀 志子 (社会言語学)	日本の伝統文化とサブカルチャーとの融合、ボーダーレス化が進んでいる。海外での歌舞伎公演を取り上げ、海外での理解を得るためにどのような工夫が必要か、またどのような問題が発生するか、について考える。
Tourism Sustainability: Brainstorming!	Kristie Sage (TEFL)	Brainstorming is important for developing ideas in international business and society. Let's study examples from the news and discuss ways to improve tourism sustainability through teacher guidance and pair work.
観光メディア論 - メディアで観光地を創る！情報発信から見る旅のカタチ -	本多 陽子 (観光学、 メディア・コミュニケーション論)	なぜ今、SNSで見た「あの場所」へ行きたくなるのか？観光スポットの事例から、メディアが地域に与える影響や観光地を創り出す仕組みを学問の視点から一緒に考えましょう。

「出張講義概要一覧」(国際学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
漢字と「中国語」の違い	フスレ (中国語・東アジア国際関係史)	漢字は「文字」であり、ことばではありません。ことばの背景にある文化にふれながら、日本人と中国人の思考や行動様式、価値観の違いなどを考察します。それによって、どのような興味深い発見があるかを楽しんでもらいたい。
「同じ事象」でも「違う表現」	徐 珉廷 (韓国学・認知言語学)	異なる母語を持つ人々は、同じ事象でも表現の仕方が異なります。この講義では日本語・英語・韓国語の話者が好んでなされる〈言い回し〉とその言語化の仕方の差の背後にある〈発想〉の違いについて考えていきます。
ジェンダーとエスニシティ	川畑 由美 (アメリカ文学・ジェンダー研究)	ジェンダーやセクシュアル・ハラスメントは一般的な文脈でもよく目にするようになってきた。短編小説を読みながら、19世紀のアメリカにおけるジェンダーや人種について学びます。
英語でのコミュニケーション	渡邊 知子 (英語教育・応用言語学)	様々な国や地域からの人たちの英語でのコミュニケーションにおいて、どのように英語の表現が使われているのか、文化的背景などによりどのような違いがあるのか、といったことを考えていきます。
複言語を学ぶ理由	小倉 麻由子 (スペイン語教育学・応用言語学)	機械翻訳やChat GPTなどの人工知能技術が進むSociety 5.0を生きる皆さんは、AIがあれば十分だと思いませんか？また、英語だけ学べばよいのではないかと思いませんか？この時代こそ複言語を学ぶ必要性について、一緒に考察してみましよう。
「国潮」エンタメから見る中国文化	張 陵 (文献文化学・中日比較文学)	10年前から中国の経済を支えてきた新しいカルチャー「国潮」、その背景にある中国伝統と現代文化の融合と乖離、現代中国人の社会意識の一端を、「国潮」ドラマ、映画、アニメ、ゲームの内容とその享受の様相から考えてみましょう。
多文化共生のための異文化理解： 身近な隣人の文化を知ろう	大泉さやか (東南アジア地域研究、文化人類学)	日本に定住する外国人（あるいは外国にルーツを持つ人）が、日本で直面する困難、その文化的背景を、在日ベトナム人、ベトナムの文化を例に考えます。相手のものの見方を理解することの大切さに気づき、お互いを認め尊重し合う方法を考える糸口としてみましょう。
アメリカを例に民主主義について考える	矢鳥 宏紀 (アメリカの歴史・思想)	アメリカ合衆国は、独立や憲法制定の過程に見られるように政府の必要性を認めつつその暴走をいかに防ぐのかということに関心を持ち続けてきた国です。そして世界に民主主義を広めようとしてきた国でもあります。民主主義はなんとなくよい仕組みだと思う人が多いと思いますが、トランプ政権を見ているとそれも揺らいているように見えます。アメリカ建国を例に民主主義について考えてみましょう。
K-POPで学ぶ韓国社会	金 泰植 (比較社会、韓国研究)	日本のアイドル文化と黒人音楽の影響を色濃く受けながら誕生したK-POPの成り立ち、BTSをはじめメッセージ性の強い歌詞とその社会背景、そして日本で「韓流」を楽しむことに付きまとう「嫌韓」と日韓関係、K-POPを通して韓国社会について一緒に考えてみましょう。
いろいろな国境、国家、国際関係	宇田川 光弘 (国際関係論、国際政治学)	世界には様々な国境があります。フリーパスで行き来できる国境、入国審査の厳しい国境、地雷が埋まっている国境、存在自体が激しく争われる国境。様々な国境の画像から、国家と国際関係について考察します。

## 「出張講義概要一覧」(ビジネスデザイン学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
時点が違うと価値は変わる：投資決定の基礎	本合 暁詩 (コーポレートファイナンス、会計)	企業は日々様々な意思決定を行っており、特に工場建設や事業の買収といった長期的な「投資」は企業の価値に大きな影響を与えます。この意思決定の基本を、数値計算を交えながら解説します。
スマートフォンアプリのビジネスアイデアを考えてみよう	宮脇 啓透 (ICTビジネス、新規事業開発)	身近なスマートフォンのアプリを事例として取り上げ、ビジネスモデルについて学びます。その後ビジネスアイデアを発想するプロセスを実際に行い、スマートフォンアプリのビジネスアイデアを実際に考案します。
チームメンバーの力を引き出すには？	櫻木 理江 (組織行動論、マーケティング)	みなさんも、誰かとチームで作業をするという経験があるのではないのでしょうか。「高い成果を上げられるチームにはどんな特徴があるのがあるのだろうか」という疑問に、組織行動論の研究をご紹介しますながら考えます。
ビジネスのための異文化理解	浅田 裕子 (理論言語学)	グローバルブランドの広告は、世界共通でしょうか？飲料・化粧品など、身近な商材を取り上げながら、ブランドの国際戦略と各国の文化特性がどのように広告に反映されているかを学びます。
「デジタル化」の脅威	馬場 康志 (イノベーション論、技術経営学)	あらゆる情報がデジタル化される中で、もともと同じ業種だったのに、生き残り発展してきた企業と、衰退し消え去った企業があります。デジタル化への対応で両者は何が違ったのか、事例を交えて説明します。
Sustainability and Business	Akiko Imai (政治学、Global Issues)	グローバルビジネスによってこれまでにない魅力的な商品やサービスを楽しめる一方、思わぬ「負の影響」も発生しています。地球温暖化や児童労働などがその代表例です。環境・社会・企業統治(頭文字を取ってESG)と呼ばれる企業の義務や責任について、事例をもとに英語と日本語で議論します。
「ビジネスと人権」のグローバル・ガバナンス	今井 章子 (政治学、Global Issues)	児童労働、低賃金労働、パワハラ・セクハラなど、ビジネス活動によって引き起こされる人権問題は後を絶ちません。国際社会や企業は「ビジネスと人権」問題にどう対処しようとしているのか、事例を交えて解説します。
環境と資源の経済学	長屋 真季子 (環境経済学)	環境問題への取り組みは経済社会にとって必要不可欠なテーマになりました。経済と環境の両立のためには、私たちはどのような行動をとるべきなのか、経済学の視点から考えてみましょう。
ヒット商品にはワケがある	桑袋 貴久 (マーケティング戦略)	なぜ、あの商品が売れたのか。身近なヒット商品を探り上げながら、製品やサービスが売れる仕掛けづくりとしてのマーケティングについて考えます。
Stereotypes and Discrimination (ステレオタイプと偏見)	富田 三穂 (英語教育、異文化コミュニケーション)	ステレオタイプとは特定の集団や個人に対して広く信じられている固定的なイメージや考え方を指します。自身や社会に潜むステレオタイプに気づき、その背景や影響について英語と日本語でクリティカルに議論します。
価値創造できるリーダーになるために	川田 弓子 (組織的知識創造理論)	人は誰でも新たな価値を創造できる潜在能力を持っています。他者とともに新たな価値を創造するリーダーシップやそのプロセスについて、日本発の経営理論である組織的知識創造理論を元に事例も用いながら考えます。

## 「出張講義概要一覧」(会計ファイナンス学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
経営学とはどのような学問か	鈴木 美代子 (経営学)	本講義では、経営学とはどのような学問なのか、何を学ぶことが出来るのかについて取りあげます。具体的には、経済学との違い、経営学が対象とすること、近代マネジメント誕生の歴史的な背景について説明します。
会社と株式：なぜ会社は成績表を公表するのか	鈴木 大介 (会計学)	本講義では、会社とその持ち主の関係を確認し、今はやりの投資対象である株式の意義を考えます。その際、簿記がなぜ必要なのか、なぜ簿記を学習したほうがよいのかをファイナンスの基礎をふまえて考察します。

「出張講義概要一覧」(日本語日本文学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
10歳のヒロイン、紫の上	鶴飼 祐江 (中古文学)	『源氏物語』のヒロインである紫の上が物語に登場したとき、紫の上はまだ10歳くらいの少女でした。なぜ恋物語のヒロインが少女に設定されたのでしょうか。呼称に注目しながら読み解いてみましょう。
室町時代の流行歌	山本 晶子 (中世文学)	室町時代に流行した歌とはどのようなものなのでしょうか。室町時代に編纂された『閑吟集』の歌を取り上げ、中世という動乱の世に生きた人々の思いを読み解きます。現代に伝わる室町小歌も視聴覚資料を用いて紹介します。
まじめにふざける：江戸時代の替え歌	李 國寧 (近世文学)	古典の教養とお笑いのセンスがまつた狂歌・俳句・川柳を、和歌の「替え歌」として紹介します。ちょっと笑いながら、古典の身近さや江戸のパロディの面白さにふれてみましょう。
星新一「味ラジオ」を味わってみよう	笛木 美佳 (近現代文学)	「おーい でてこーい」を書いた星新一。「あつと驚くオチがあつて、おもしろい」と人気です。「味ラジオ」はスマホを超えた最先端ラジオ。でも……。〈おもしろい〉だけではない星作品を味わいつくしましょう。
太宰治作品の明るさ、こっけいさ	山田 夏樹 (近現代文学)	太宰治「トカトントン」(1947年)では、第二次大戦後の世界で、何かを行おうとする度に幻聴に悩まされ、何も出来なくなる青年と、それをたしなめる某作家の姿が描かれます。その構図にどんな意味があり、そこから今を生きている私たちが何を得られるのか、考えていきます。
幻想と怪談の系譜 ～芥川龍之介と大正時代の怪奇文学～	山本 歩 (近現代文学)	ホラーブームの昨今ですが、怖さや不気味さ、不思議さを表現するための作法は近代文学でも模索されてきました。芥川龍之介を中心に、幻想と怪奇に惹かれる大正時代の「おぼけずき」たちの作品に触れてみましょう。
不思議なお店 ～児童文学に描かれる取引き～	福田 委千代 (児童文学)	子どもの文学にはじつにたくさんのお店が登場し、店主とお客とのあいだで多様なものが取引されます。気を付けてみると、その取引にはちょっと不思議な共通点が見えてきます。その不思議を覗いてみましょう。
古典語会話講座	須永 哲矢 (日本語学)	古典語会話講座、開催！「読む」が中心の古文、話せる？簡単な会話でも「こんにちは」ってどう言うの？「うん」って返事は？「ごめんね」「ありがとう」は？外国語みたいに、言語として古典語を考えてみましょう。
ゴジラとクリラ、どっちが強い	嶺田 明美 (日本語学)	「ゴジラ」は「ゴリラ」と「クジラ」の合成語だそうで、それなら「クリラ」でもよさそうですが、強そうにありません。日本語の発音の仕組みの基本をおさえたうえで、私たちが音から受ける印象の違いを考えます。
日本語とコミュニケーション	宮崎 由美 (日本語学)	伝わってる？私たちは他者と円滑にコミュニケーションをとるため、どのような方法で伝え、どのようなことばやしぐさを使っているのでしょうか。あなた自身や他者のより良いコミュニケーションについて考えてみます。
会話を文字にすると何が見える？ ～コミュニケーションに活かす会話データ分析～	大場 美和子 (日本語教育)	会話データ分析は、普段、何気なく行っている会話を収録・文字化することで、会話の特徴が具体的に増えてきます。これをどのようにコミュニケーションに活かすのか、実際に会話データ分析を体験しながら考えます。
知らないのに知っている？日本語の文法 ～日本語教育という観点から～	村上佳恵 (日本語教育学)	「ふぼわしとこりれらがでれちよがでぼほいむのりくった」この謎の文章を日本語だと仮定して、日本語を第一言語とする人が知っている「文法」を探してみましょう。
外国でも学ばれる日本語：日本語教育の観点から	近藤 彩 (日本語教育)	日本語は海外でも学ばれています。講義ではその現状や学習の様子等を紹介し、さらに、日本語学習者とコミュニケーションをする際の工夫について取り上げます。動画等を見ながら考えていきましょう。
絵本の読み聞かせをしてみませんか？	池田 美千絵 (図書館情報学)	読み聞かせは、子どもと絵本の出会いを作るものです。読み聞かせの方法とは、読み聞かせに適した絵本とは、どのようなものなのでしょうか。実際に読み聞かせを体験しながら考えていきます。絵本の紹介も行います。
ことばと分類から考える情報の探し方	熊谷 慎一郎 (図書館情報学)	ことばを用いた情報検索の過程を出発点に、検索してもうまく答えにたどりつけない理由を考えます。人物調査や社会問題を題材に、主題の捉え方と言葉の選び方を学び、知識の構造と情報の探し方を考えてみましょう。

「出張講義概要一覧」(歴史文化学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
デジタルアーカイブで新選組の実像に迫る	三野 行徳 (アーカイブズ学・日本近世史)	新選組局長近藤勇は多くの手紙を遺しており、近年、インターネットでも画像を見ることができるようになりました。近藤の手紙を読み解き、フィクションの世界の新選組とは異なる実像に迫ります。
明治時代からの挑戦状 —昭和女子大OGの家から みつかった犬養毅の手紙の謎を解け!!—	松田 忍 (日本近現代史)	昭和女子大OGの家から見つかった犬養毅の手紙に秘められた謎が！黒字と赤字？謀反？大至急？そして封筒と中身で入れかわる宛先？謎解きの先に姿をあらわにする明治時代のリアルとは！？歴史の目撃者になろう！
「歴史」はどう語られるのか？ —ギリシア・クレタ島にて—	湯上 良 (西洋史)	「歴史」は、歴史的経緯や立場によって語られ方も変化します。さまざまな民族や宗教が入り混じる地中海世界では、特に大きな違いが見られます。教科書に出てくる出来事だけでは見えない世界で考えてみませんか？
中国明代の仏教絵巻から見る東洋史	毛利 英介 (東洋史)	東洋史はアジアの歴史なら何でも扱います。今回は「普度明太祖長巻」という中国明代の仏教絵巻を紹介しします。説明文は漢文・モンゴル語・ペルシャ語等五言語で書かれます。「東洋史、面白そう」と思って欲しいです。
年中行事と信仰	後藤 麻衣子 (民俗学)	かつて、生業によって行われる年中行事や信仰する神は異なっていました。各地域に伝承する事例を取り上げながら、その歴史や意味、地域性を解説し、継承の在り方について考えていきたいと思います。
発掘された「木の道具」を調べる	鈴木 伸哉 (考古学)	遺跡からはしばしば、木でできた道具や木造建築物の跡が発見されます。これらを考古学や文化財科学の手法を用いて調べることでわかる過去の人類と森林の関わり方の歴史について、最新の事例をもとに解説します。
江戸の「新しもの好き」たち —西洋画へのあこがれと受容—	鶴岡 明美 (日本美術史)	18世紀後半、江戸時代も半ばを過ぎるころ、オランダや中国といった限られた国々との交流を通じてもたらされた西洋画に魅入られ、その表現に倣って作品を残した画家たちがいました。彼らの努力の跡をたどるとともに、こうした西洋風の画法が当時の人々の好奇心を刺激したことで生まれた、洋風の浮世絵版画についても紹介します。
ルネサンスの壁画を読む	永井 裕子 (西洋美術史)	世界的に有名な壁画《最後の晩餐》について考える授業です。何が描かれているのか、どのように描かれたのか、なぜ傑作とされるのか、絵画作品を読み解いてみましょう。
文化財を科学する	村上 夏希 (文化財保存学)	皆さんは文化財とは何か、日本にどのような文化財があるのかご存じでしょうか。本講義では、文化財そのものについて、そして文化財を科学的に調査研究する文化財保存学について、具体的な事例を交えて紹介します。
地理的見方・考え方の活かしかた	松山 周一 (地理学)	高校で必修となっている地理総合で学ぶ地理の知識をどのように使い、活用するかについてマンガ・アニメ、環境問題、身近な社会問題など様々なテーマ(テーマは応相談)をもとに学びます。

「出張講義概要一覧」(心理学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
「見る」の心理学	池上 真平 (認知心理学)	私たちが見ている世界は、本当に「ありのまま」の世界でしょうか？実際に体験しながら答えを探していただきます。
社会心理学の研究とは	清水 裕 (社会心理学)	社会心理学ではどのような研究が、どのような方法で行われているのか、「他者への援助行動」を具体例にして紹介します。
非行臨床心理学	田中 奈緒子 (臨床心理学)	非行に関わる諸機関の役割と心理職の仕事など、臨床心理学の立場から、非行少年への心理的支援について紹介します。非行少年の社会復帰を支える人々の具体例を通じ、社会で何が求められているかを考えてみましょう。
発達障害の心理臨床	松永 しのぶ (発達臨床心理学)	自閉スペクトラム症の子どもたちの心と行動の特徴を簡単に説明し、発達障害を理解するための心理学的知見を紹介します。発達の凸凹や特性について一緒に考えながら、心の発達に対する関心につなげていきたいと思います。
心理学から学ぶ、ストレスとの付き合い方	増淵 裕子 (臨床心理学)	同じ出来事を体験しても、ストレスを感じる人とあまり感じない人、ストレスが気持ちに出やすい人と身体に出やすい人など、ストレスの感じ方や表れ方は人それぞれです。ストレスの理解とその付き合い方について、心理学の知見をもとにお話しします。
自由で楽しい心理学の世界	榎原 良太 (社会心理学)	「人間がかかわることは、全て心理学の研究対象になる」と言えるほど、心理学が扱う範囲は広く、それが心理学の魅力の一つだと思います。講義を通じて、ぜひ心理学の面白さを感じてください。

「出張講義概要一覧」(福祉社会学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
日本で暮らす外国人の生存権	奥貫 紀文 (在住外国人の社会福祉)	現在日本で暮らす外国人は412万人を超えました。100人のうち3人超が外国人という日本において、社会福祉や社会保障制度は、皆が安心して生活できる内容になっているか、今後どうあるべきなのか、考えます。
ライフ&キャリアデザインと生活経営	伊藤 純 (生活経営学)	本講義では、人生100年時代の私たちの生活経営上の課題を考え、ジェンダーやライフ&ワークキャリアの観点から必要な社会福祉資源や獲得すべき生活福祉経営能力について考えます。
エッセンシャルワークとしての福祉の仕事	北本 佳子 (ソーシャルワーク)	今日、ソーシャルワークによる支援が目まぐるしく行われています。ソーシャルワークを担う専門職であるソーシャルワーカー について、エッセンシャルワークという観点も含めて、その意義や役割などを多面的に学びます。
敗戦後の子どもたちー 「あの日のオルガン」と児童福祉法	川崎 愛 (児童家庭福祉)	第二次世界大戦の度重なる空襲や原爆の投下により、多くの命が奪われました。戦争で家族を失った戦争孤児がどのように戦後を生きたのか、「児童福祉法」の施行は社会に何をもたらしたのかを考えます。
障害とは何かを考える	根本 治代 (障害者福祉)	障害をもつ人も、もたない人も互いに支え合う社会が求められています。障害とは何か、障害をもつとはどのようなことなのかを、社会を通して構造的に考えていきます。
社会福祉の視点について	李 恩心 (地域福祉)	社会福祉とは何かという問いをたて、社会福祉に関する視点を学び、制度の理解とともに制度の狭間の問題へのアプローチ方法としての地域福祉実践などについて考えます。
健康とウェルビーイング	向笠 京子 (保健学、看護学)	健康の保持増進のための理論を学び、ウェルビーイングについて考え、理解を深めます。心身ともに健康で幸福度を上げる方法について、演習を通して実践的に学び、技法を習得します。
現代に求められる保育ソーシャルワーカー	山梨 みほ (保育学)	子どもの発達への支援とともに、その家族も一緒に支援していくことが求められています。現在の子どもの発達におかれている問題を考え、「保育」と通して、親子関係の構築の手助けや育児支援について学びます。
当事者と共に社会を変えるー 認知症高齢者と支援者による社会変革ー	熊谷 大輔 (高齢者福祉)	認知症高齢者に関する基本的な理解と具体的なコミュニケーション方法を学び、認知症高齢者と支援者が共に実践する社会変革について映像を通して考えます。
ソーシャルワーカーという仕事の魅力	坂入 竜治 (精神保健福祉)	身近な精神保健の課題を取り上げながら、人と環境(家族・職場・地域社会など)の双方に働きかけ、誰もが生きやすい社会をつくることをめざすソーシャルワーカーという職業の魅力について解説します。
児童養護施設を退所した女性とソーシャルワーク	神山 典子 (児童家庭福祉、女性福祉)	この講義では、特に児童養護施設を退所した女性に焦点を当て、アフターケアの現状と課題、社会の中で何ができるのかソーシャルワークの視点から考えます。
社会福祉の歴史	樋田 幸恵 (貧困史)	貧困は常に人間の暮らしの隣にあります。救貧制度が作られた背景を学び、過去に人間がしてきた「失敗」をこれ以上繰り返さないために、今を生きる者として共に考えます。
働く女性にとっての育児と介護	増田 裕子 (児童家庭福祉)	働く女性の割合が増加の一途をたどり、家庭を取り巻く環境が大きく変化しています。育児や介護を担う働く女性、そして子ども・家庭を、どのように地域や社会とつなげるか、どのような支援が必要であるかを考えます。

「出張講義概要一覧」(初等教育学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
音楽アンサンブルをととして育む音楽表現力	赤塚 太郎 (音楽教育、ピアノ)	リトミックや、身近な素材・楽器を用いたアンサンブルをととし、音楽で他者とコミュニケーションを図り、音楽表現の楽しさを感じながら、その可能性を広げてみましょう。
Bostonでの参加・体験型の英語教育実践を!	園分 有徳 (英語科教育)	Bostonの小学校などで英語活動を行う上で役立つ英語指導法をワークショップ形式で学んでいきます。指導の際に必要な教室英語や語彙・表現を身につけながら、英語らしい発音やリズムも身につけていきましょう。
「子ども」を哲学する	藤本 夕衣 (教育哲学・思想)	「子ども」といえば、純粋、無邪気、元気などのイメージがあると思います。しかし、今の「子ども」のイメージは、歴史的にみると、当たり前ではありません。歴史的な視点から「子ども」について考えてみましょう。
教壇に立つということ —教職の意義と教職観—	鈴木 円 (教職論・社会科教育)	学校の先生になる、教職に就くとはどういうことなんだろう? 教職という職業はほかの職業とどう違うのだろうか? この講義は教員を目指す学生が最初に受ける講義です。教職について、じっくり考えてみましょう。
日本画に隠されたメッセージを解読せよ!	早川 陽 (日本画・美術教育)	日本画の景色に隠された物語を解読!! 歴史、文化、現代との繋がりを深掘りします。画家の想いや意外な文化との接点、現代カルチャーへの影響を発見。奥深い日本画(日本絵画)の世界を聞いてみよう!
インクルーシブ保育・教育って何? ～みんな学びやすさを考えてみよう～	遠藤 清香 (特別支援教育)	感じ方や動き方がちがう子どもたちがともに学ぶのがインクルーシブ保育・教育です。一人ひとりの“ちがいを大切にしなが、子どもたちそれぞれが安心して学ぶことができる保育・教育について考えてみましょう。
教育とテクノロジー	森 秀樹 (教育工学、学習環境デザイン)	教育では、デジタルからアナログまで様々なテクノロジー(技術)が使われています。これらのテクノロジーは教育と私たちの学びをどう支えているのでしょうか。実際に様々な学びを体験しながら一緒に考えていきます。
日本・文化・ことば	豊田 千明 (日本文学・日本文化)	さまざまなものを例にあげながら、ことばの背景にある文化について考えていきます。アジアの中でも独自の文化を形成した日本という国についても考えます。
比べてわかるヒトらしさ —チンパンジーにもできること、ヒトにしかできないこと—	中村 徳子 (比較発達心理学)	ヒトにしかできないことって何だと思いませんか? チンパンジーは系統発生的にみてヒトにもっとも近縁な種です。チンパンジーの赤ちゃんヒトの赤ちゃんの発達を比べることで、ヒトに固有な知性を探ってみましょう。
子どもが夢中になる学びづくりで、 望ましい学級・学校を創る	宮本 雅司 (小学校学級経営・学校経営)	子どもが夢中になって「もの」や専門的な「人」とかかわる学びが、望ましい学級づくりや信頼される学校づくりにつながります。小学校での実践例をもとに考えていきます。
数字のナゾを解き明かせ! 「なんで?」が「なるほど!」に変わる算数の時間	神保 勇児 (算数科教育)	2桁の数の計算に隠れた法則を、実験を通して発見する「帰納的」な考え方と、文字式で理由を証明する「演繹的」な考え方を学びます。図や式を使って「スッキリ」納得する、算数本来の面白さを体感しましょう。
ライフコースとライフステージ —生まれてからこれまでの歩みについて考えてみよう—	今西 恵子 (乳幼児保育・教育、 特別支援保育、子育て支援)	これまで、生まれてからどのように育ち、歩んできたのか、思い出したり、考えたりしてみましょう。人生の振り返りがこれからの生きる力になることでしょ。
教育学の中の「学び」と「遊び」 人間らしさの本質を考える	田島 宏一 (体育科教育学)	「学び」と「遊び」を考えると、ともするとこの2つは対極にあると考えられます。しかし、その両者の本質には共通点が見出せませ。 「学ぶこと」と「遊ぶこと」の本質から人間らしい生き方について考えてみましょう。
AI時代を生き抜く創造力とは? アイデアが生まれる環境と、それを邪魔するものを考察しよう	白敷 哲久 (理科教育・STEAM教育・生活科教育 ・総合的な領域の時間)	「何が創造力の邪魔をするのか」と「何が創造力の発揮を助けるか」について、これまでの経験を踏まえて議論することを通して、人にしかできない創造力を発揮することの意義について考えていきます。
「幼児教育」の世界ようこそ —教科書ではなく「環境」から学ぶ教育方法の場—	鈴木 法子 (幼児教育・保育)	私たち人間は、様々な方法で学ぶことができます。教科書を用いて学ぶ方法のほかに、どのような学びの方法があるのでしょうか。幼稚園・保育所・こども園での幼児の学び方について、ご一緒に考えてみましょう。
子どもの声、子どもからはじまる保育の世界を知ろう	浅見 佳子 (乳幼児教育学・保育学)	目の前で子どもたちがけんかをはじめたら、みなさんはどうしますか。子どもの言葉に耳を傾け、実際の子どもの姿から子どもが見ている世界を知り、一人ひとりの育ちを支える保育者のかかわりについて考えていきます。
保育の仕事の魅力 子どもを育てる仕事で、自分も育つ理由	野澤 友美 (保育学・経営学)	保育の仕事は、子どもを育てる仕事だと思われがちですが、実は自分自身も大きく成長していく大変魅力的な仕事です。それはなぜでしょうか。みなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

「出張講義概要一覧」(現代教養学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
日本の教育制度の七不思議 —諸外国との比較を踏まえ—	シム チュン・キャット (教育社会学)	「他を知り、己を知る」という言葉のように、自国をより知るためには他国との比較が重要です。この講義では、諸外国との比較を通じて日本の教育制度の特徴への理解を深めることを目指します。
女子大学は必要なのか？	シム チュン・キャット (教育社会学)	欧米社会では女子大学の存在が薄れつつある中、日本では全大学数の1割弱を女子大学が占めているのはなぜでしょうか。女子大学の存在意義について生徒たちと議論を行いたい。
あなたは占いを信じますか	シム チュン・キャット (教育社会学)	宗教心が薄い日本人でも占いなら信じるのはなぜなのか、そもそも占いと宗教はどう違うのか、一方で世界中の多くの人々が神様の存在を信じている理由は何なのか、グローバルを語る前にまず宗教について考えませんか。
観光でまちを守る！ —サステナブル・ツーリズム—	鶴田 佳子 (都市計画・都市社会学)	ニューヨーク、パリ、イスタンブールなど世界の都市を事例に、地域資産や文化の継承と、みんながハッピーに暮らせる観光のかたちを考えます。
メディア比較で見る原爆イメージ	八木 良広 (社会学・オーラルヒストリー研究)	映画や漫画、ニュース、SNSを見比べ、同じ原爆でも印象が変わる仕組みを体験します。探究を促す問いと議論を通じて見出しや画像の違いから、歴史の「記憶」がどう作られ、今の社会とつながるかを共に考えます。
私たちはなぜSNSにはまるのか？	天笠 邦一 (メディア論)	SNSは楽しいけど苦しい。一度見始めると、止まらなくて抜け出せない。そんな人いませんか？なぜわたしたちは、SNSにハマるのか。承認欲求という心理学的側面ではなく、メディア論と社会学の視点から考えます。
「伝わる」動画を撮るテクニック	村井 明日香 (メディア論)	皆さんは、スマホなどで撮影する動画に、文章と同じように「文法」があることを知っていますか？この授業では、学習活動やビジネスなど様々な場面で活用できる、より「伝わる」動画の基本文法について講義します。
「地図のデータ」を活用する社会	相 尚寿 (空間情報科学)	みなさんは、地図アプリで最寄りの店舗が検索できることや雨雲の接近を通知されることの仕組みを考えたことはありますか？位置情報や空間データをキーワードに、観光、交通、防災など、社会での活用例を紹介します。
日本は移民をどれだけ、どのように受け入れているのか	植村 充 (国際関係論)	少子高齢化に伴い日本の人口は減る一方、日本に住む外国人にルーツを持つ人々は増えており、2040年には人口の10%に及ぶとする調査もあります。今後さらに重要となる多文化共生について、一緒に考えましょう。
エンドロールを見てみよう	高橋 かおり (芸術社会学)	映画やドラマの最後に流れるエンドロールをじっくり見たことはありますか？いろいろな役割やさまざまな肩書を順に追いながら、多くの人がかかわって芸術作品を作るプロセスを考えていきましょう。
グローバル社会がもたらす「食」の変化	粕谷 美砂子 (生活経営学)	「せたがやそだち」の野菜から世界の食をとりまく状況まで、地産地消、六次産業化、フード・マイルージ、エシカル消費、ハラールなどを題材にして、グローバル社会と食、農・環境の関わりについて考えてみましょう。
たかが服、されど服。	粕谷 美砂子 (生活経営学)	なぜその服を選びコーディネートしたの？これを「使用価値」と「記号価値」の消費社会論やモノがなぜ消費されているか、消費が生み出す不平等の視点から捉え、消費をめぐる価値観、行動様式について考えます。
なぜ、誰のために見た目を変えるのか？	木村 美也子 (家族社会学)	美容医療の低年齢化が進んでいると言われてます。私たちはなぜ化粧をしたり、医療の力を借りてまで見た目を変えようとするのでしょうか？化粧や美容医療の文化的背景や近年の傾向をみながら、考えてみましょう。
いま、生きづらい社会だと思いませんか？	古市 太郎 (地域社会学)	「なにか、何となく生きづらいな」と漠然と感じ、経験したことはありませんか。‘何とも言いえない’その原因を、社会学から解説し、現代における「生きやすさ／生きづらさ」について考えていきます。

「出張講義概要一覧」(環境デザイン学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
あたらしい建物	金尾 朗 (建築計画・都市計画)	個性やオリジナリティ、地域の個性などが求められている中、デザイナーがどのように新しい建物を考え、想像しているかについて事例を見ながら考えていく。
都市とオープンスペース	金子 友美 (建築計画・住居計画)	図と地の関係から「建物を建てる」とこと「外部空間をつくる」ということを考えます。世界各地の広場や日本のオープンスペースの事例を紹介しします。
1/1ワークショップのはなし	田村 圭介 (建築計画・意匠)	人々が実際に利用できる原寸大の建築(構築物)を学生がチームで自らの手で作るワークショップを学生と10年以上続けてきました。企画構想、設計、施工、組立て、解体、お金の管理と、これは建築行為の凝縮されたシミュレーションです。毎年展開してきた学生たちのモノづくり格闘のお話です。
建築ってなんだろう	棚橋 玄 (建築設計)	私たちの暮らしのなかに、常に建築は存在しています。あらためて建築って何だろう。人の居場所のはじまりという観点から、様々な事例を参照しつつ考察していきます。
室内環境と健康・快適	堤 仁美 (建築環境学)	現代社会において、私たちは一日のほとんどを室内で過ごしています。そのため、知らず知らずのうちに室内の環境からの影響を受けています。本講座では、室内環境と人間の健康性や快適性の関係について解説します。
建築と都市の歴史	戸田 穠 (建築史)	私たちの暮らす街には多くの建物がたっています。普段、それらひとつひとつの存在を意識することはあまりありません。しかし、建物はひとたび建設されれば、長くそこに立ち続けます。そのひとつひとつの建物の物語を通じて、都市の成り立ちや、わたしたちの歴史を紐解きます。
すまいと生活 ～子ども部屋を考える～	番場 美恵子 (住生活学)	幼児、小学生、中学生、大学生…同じ子どもでも、成長段階で必要なものは変化し、当然求められる子ども部屋も異なります。とくにイマドキの大学生の生活と子ども部屋に着目し、その実情とそこからみえる現象や課題を考えてみましょう。
建築に潜む力の流れを垣間見る	森部 康司 (建築構造・構造設計)	近年、ファッションやCMの背景として、建築家のデザインした美しい建物が取り上げられることが増えてきた。そうした建物では一見すると特徴的な外観やインテリアにはかりに目が行きがちだが、その裏には厳格な力学の世界が潜んでいる。そんな厳格の世界の一端を解説する。
まちを歩くことについて	伊原 慶 (建築計画・意匠)	皆さんが生活しているまちは、人々の営みが連続とつながり蓄積されることで成り立っています。「現地に向いて直接対象物を観察・調査すること」をフィールドサーベイと言いますが、普段見慣れたまちを対象として行うといつもと全然異なる視点を得られます。そんなきっかけや建築の楽しさを皆さんにお伝えできたらと思います。
距離感をデザインする -建築家の役割-	平井 未央 (建築設計)	建築家の仕事は、図面を描いたり模型をつくることだけではありません。自分の引いた線が境界となって立ち上がったときに、そこで過ごす人々にどのような影響を与えるのかを常に想像しています。単なる形のデザインではなく、人と人の距離感をデザインしている現代の建築家について、事例も交えてお話しします。
パッケージデザインの役割	工藤 陽介 (パッケージデザイン/エンジニアリング)	店でも、オンライン販売でも、売られているほとんどの商品はパッケージに入っています。パッケージをデザインする視点から見てみると買う立場とは違った発見がたくさんあることお話しします。
学校椅子解体考	橘 倫央 (プロダクトデザイン)	国民椅子といっても過言ではない学校椅子を解体し、デザインの視点で素材、部品、形状、加工、設計をとらえ直していきます。日常生活に溶け込んでいるありふれた製品を通じ良いデザインについて解説します。
「デザイン・ビフォア・アフター」	中田 士郎 (プロダクトデザイン)	現代の生活の中には様々な問題(社会的、人間的、物理的、身体的…)があります。それらの解決方法のひとつがデザインです。数々の事例を解説し、ビフォア・アフターでの変化にデザインがどう関わったかを考察していきます。
紙とデザイン	桃園 靖子 (プロダクトデザイン)	私たちの生活の中には、とてもたくさんの紙が存在します。紙一枚がデザインと出会うと、どんな可能性を纏うことができるのでしょうか。目で感じ、手で触れながら紙のプロダクトについて考えます。
ファッションが生まれるまで -アパレルの企画・生産-	石垣 理子 (アパレル設計・デザイン)	人々の生活を豊かに彩るファッションの中心にある衣服。シーズンごとに人を魅惑する新しいスタイル。これらはどのように生み出されてみなさんの手に渡るのでしょうか?アパレル(既製服)の企画、生産、販売の流れを追いながら、ファッションビジネスの一端を覗いてみませんか?
おしゃれの社会学 -ジブリとファッション-	菊田 琢也 (ファッション論・ファッション史)	「おしゃれ」とはなんなのでしょう?スタジオジブリの登場人物たちの装いを例に、私たちが服を着て社会生活を送る理由、あるいはおしゃれをしたいと思う心理についてひも解きます。
ファッションと表現	木村 知世 (服飾造形・ファッションデザイン)	ファッションの表現方法はさまざまなものがあります。アニメ、イラスト、衣装など、いろいろな観点からファッションを捉えてみましょう。
ファッションデザイナーの仕事	永野 幸治 (ファッションデザイン)	イメージやコンセプトから、身にまとう立体物を作り上げるプロセスのお話しをします。

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
地域とデザイン	内田 敦子 (地域デザイン)	日本各地で様々なまちづくり活動が行われていますがまちづくりにもデザインが重要な役割を担っています。事例を紹介しながらデザインの役割について考えます。
メディアとデザイン	鳥海 希世子 (メディア論)	私たちの日常は多様なメディアで溢れています。テレビやラジオ、スマートフォンやSNS、生成AIまで、暮らしのあらゆる環境は複合的な情報技術で成り立っています。では、これらをつくってきたのは誰でしょうか？この授業では、未来のメディアをデザインするための多角的な視座について考えます。
人の感性に響く デザインの世界	羽深 太郎 (感性デザイン学)	「きれい」「カッコいい」「使いやすい」といった私たちの感性について。本講義は人の感性を科学的に探求する「感性工学」と、その知識を活かして新たな価値を生む「感性デザイン学」の世界に迫ります。
空間で伝えるモノやコト	宮崎 祥江	言葉や画像だけでなく、「空間」そのものを使ってメッセージを届ける方法があります。展示やイベントなど、その場でしか生まれない体験をどう作り出すのか。人を集め、情報を編み、心を通わせる「空間デザイン」の思考法を一緒に探ってみましょう。
デジタルとものづくり	稲野 遼義紀	ものづくりに欠かせない存在となったデジタル技術。その便利さと効率性を見つめ直し、アナログの時代にあった価値にも触れながら、これからのものづくりにおけるデジタルの活かし方を考える。

「出張講義概要一覧」(健康デザイン学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
新しいスキンケアのススメ	作田 智洋 (皮膚科学・食品機能学)	肌を健やかに保つには、化粧品による外側からのケアに加え、食品や運動等による内側からのケアも重要であることについて、わかりやすくお話します。
あがりのメカニズムと対策について考えよう	丸尾 祐矢 (スポーツ科学)	緊張しすぎて実力を発揮できなかった、失敗してしまった経験はありませんか？この現象は“あがり”と呼ばれています。そのメカニズムや簡単な対策についてスポーツ科学の観点から解説します。
女性の健康を科学する ～なぜ体調は変わるのか？月経のしくみ～	門馬 怜子 (スポーツ医学)	成長とともに体調の変化を感じやすくなった人はいませんか。中でも女性にとって月経は、体調を左右する要因の一つです。これから大人になるにあたり、身体のしくみを知ること、健康との向き合い方を考えましょう。
GR法を知る	池田 尚子 (臨床栄養学)	食品の血糖応答性の簡易評価法にGR法 (Glucose Releasing Rate) がある。GR法がもたらす健康効果と栄養学の重要性について学ぼう。
災害と食生活	不破 眞佐子 (生活科学)	M7クラスの首都直下地震の発生確率は今後30年間で70%と言われてています。地震災害に対する備えは出来ていますか。何をどのように備えたらよいのか、食生活の観点からお話します。
食事を設計してみよう	不破 眞佐子 (給食経営管理)	大切な人への食事を考えてあげたい！でも、相手に喜んでもらえるにはどうやって考えたらよいのでしょうか？献立作成の時に、栄養士が工夫している点を一緒に考えてみましょう。
その食情報、本当に正しい？	黒谷 佳代 (栄養疫学)	「〇〇を食べると△△になる」「●●は体に悪い」といった情報が巷に溢れていますが、正しい情報はかりではありません。正しい健康情報を見極めるコツを概説します。
高校生のための「スポーツと栄養」	小川 睦美 (栄養学)	成長期の皆さんの身体を作るスポーツと栄養について考えてみましょう。
病気と栄養	花香 博美 (医化学・分子生物学)	病気をしたとき、どのような食事をとればよいのでしょうか？医学と栄養がどのように結びつくのか、研究医の視点からお話します。
ヨーグルトの科学	村松 朱喜 (食品科学・食品衛生学)	ヨーグルトには乳酸菌が多く含まれ、腸内フローラを整えるためにもおすすめの食品です。乳酸菌にも色々な種類があり、美味しさもそれぞれです。授業を通して、発酵の科学を学んで健やかな毎日を探究しましょう。
ストレスと疲労の栄養学	渡辺 睦行 (食品機能学)	ストレスや疲労を全く感じることなく生きていくことは難しいことです。ストレスと疲労は似ているようで発生の意義もメカニズムも全く異なります。この講義では、ストレスや疲労との向き合い方について解説します。

「出張講義概要一覧」(管理栄養学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
食品のミクロの世界から見えてくること	伊藤 美香 (食品学・機器分析)	走査型電子顕微鏡は高い分解能を持ち、高倍率での観察が可能となるため、食品のミクロの構造を立体的に観察することができます。食品のミクロ構造による食感や調理上の機能について紹介します。
酸化ストレスとタンパク質	川崎 広明 (生化学)	酸素は体を傷つける凶器(酸化ストレス)にもなり、タンパク質を傷つけて病気の発症などにつながる事が知られています。本講義では酸化ストレスによるタンパク質傷害について、最新の研究成果も交えて解説します。
食品と健康の因果関係を探る	小西 香苗 (公衆栄養学)	食事として食べた食品や栄養素が我々の健康を左右していることは良く知られています。では、それら食品と健康(病気)との因果関連は科学的にどのようにして明らかにされるのでしょうか? その実際を解説します。
何をどう食べればいいのか? ～自分の体にあった食事のとり方～	齊藤 るみ (栄養教育論・食育)	私たちは食事を抜いたり偏食したりしても生きていけることを知っています。では、なぜ毎日バランスよく食べる必要があるのでしょうか? その必要性や、ライフスタイルに合わせた食事のとり方について解説します。
「おいしさ」を決める要因	佐川 敦子 (調理科学・給食経営管理)	私たちが感じる「おいしさ」とは、どのような要因によって影響をうけるのか? 「おいしさ」を決める要因には、食べ物そのものの状態や食べる人の状態など様々な要因があることを紹介します。
生活習慣と栄養	清水 史子 (臨床栄養学)	現在、日本人において、肥満症や糖尿病などの生活習慣病が増加する一方で、低栄養やフレイルなどの問題も起きています。そこで、本講義は生活習慣と栄養について、身近な話題を中心に解説します。
管理栄養士×国家公務員 ～食で健康を支える仕事のウラ側～	調所 勝弘 (臨床栄養学等)	管理栄養士の活躍の場は、病院や学校だけじゃない。国家公務員として国を動かす「栄養系技官」の仕事とは? 厚生労働省での実務経験を交え、日本の食のルールを作る舞台裏を解説します。
腎疾患患者における食事療法	中西 員茂 (医学・腎・高血圧・透析療法)	腎疾患患者における食事療法の重要性について述べる。食塩制限の高血圧・循環器疾患・腎疾患における重要性は周知のごとくであるが、その方法について詳細に述べる。また、慢性期の腎疾患・透析患者におけるリン制限の重要性は、健常者のアンチエイジングにもつながり、興味深い分野である。この点について最新の研究結果も紹介しながら述べる。
記憶とつきあう: 体の中のマルチタレントプレイヤー、グルタミン酸	林 真理子 (栄養生化学)	グルタミン酸は、うま味物質であり、タンパク質を構成するアミノ酸の一つであり、記憶の形成に関わる神経伝達物質でもあります。私たちが食べたものが体の中でどう活躍しているのか、一端をのぞいてみましょう。
見えない犯人～食中毒を防ぐには～	梶田 和彌 (微生物学)	味や香りは普通でも、食中毒は起こります。現在問題になりやすい食中毒や実際に起こった食中毒事件を中心に、食品管理の問題点や食中毒の予防方法について解説します。
おいしさ・味と飲み込みやすさについて	三浦 裕 (食品加工学、食品学)	高齢化社会を迎えるなかで、誤嚥しないように飲み物を飲むことは重要です。飲料の味や温度等の条件により飲み込みやすくなる事が解ってきました。これらについて解説します。
ストレスと栄養	坂本 友里 (応用栄養学)	ストレスを受けると体の中では様々な変化が起き、それに伴い十分なエネルギーと栄養素の摂取が必要となります。この講義ではストレス低減のためのより良い食事の選択について解説します。

「出張講義概要一覧」(食安全マネジメント学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
スイーツは科学！ “膨らむ仕組み”を学んでお菓子作りを攻略しよう	大石 恭子 (食品科学)	スポンジケーキやシュークリームなどのふわふわ食感はおいしさに欠かせない要素です。なぜ膨らむのか、そのメカニズムを理解すれば再現性の高いお菓子作りが可能に。失敗しないコツを科学的に学びましょう。
食行動：たべる／買う	清野 誠喜 (フードシステム論、消費者行動論)	ヒトの食べる、購入する(買う)際の行動・心理について、その特徴を学びながらビジネスへの応用について考えます。
フードテックと食料問題	小泉 美和子 (生理学、新規食品リスク評価)	食の未来を担う技術革新フードテックが注目されています。新しい食品や技術が求められる今、タンパク質に富んだ食べ物が不足するプロテインクライシスや食料不足といった地球規模の課題を考えてみましょう。
食物アレルギーについて考える	近藤 一成 (食品衛生、薬理/病理)	近年、世界的に食物アレルギー罹患者が増加している。日本では落花生、くるみについてカシューナッツが特定原材料に指定された。増加するナッツ類アレルギーを中心に現状や予防について考える。
睡眠と生活習慣病	地家 真紀 (公衆衛生学、睡眠疫学)	普段何時間眠っていますか？ 少しくらいの夜更かしは大丈夫と思いませんか？ 今の生活習慣が将来の生活習慣病の発症に関連します。身近な睡眠を見直してみましょう。
タンパク質のかたちを観る	島村 達郎 (生化学)	複雑な生命現象の主役であるタンパク質のかたちを観て、「生命とは何か？」を考えよう。
冷製朝カレーってどうよ	高尾 哲也 (微生物学、食品加工学)	暑い夏の朝、昨晚のカレーがなべの中。朝はそのまま冷たいのがおいしいのじゃないか？ そんな事を考えた事はありませんか。冷製朝カレーを食品の安全性・微生物の観点から考えてみましょう。
健康食品の安全性を考えよう	横谷 馨倫 (栄養学、食品安全学)	健康食品の摂取により、健康被害を起こすことがあります。この講義では、健康食品の制度や正しい使用方法について解説します。